

## 禪学関係雑誌論文目録 (2002年)

著 者	論 文 名	雜 誌 名	卷(号)	発行 月
【思想】				
何 燕 生	禪における花のシンボリズム— 「拈華微笑」の話をめぐる禅思想 の一水脉 (佛教と自然)	日本仏教学会年報	68	
斎 藤 剛 毅	禅佛教とキリスト教の対話(1) 秋 月龍眠禪師と滝沢克己教授の場合	人文学研究	5	2
西 村 恵 信	禪とキエルケゴールの通路	駒沢大学禅研究所年 報	13/14	12
森 哲 郎	禅仏教と京都学派—『十牛図』か ら見た京都学派の〈場所〉論	京都産業大学日本文 化研究所紀要	7/8	
和 田 修 二	久松真一と茶道	教育学部論集	13	3
Michel Mohr	近代「禅思想」の形成—洪岳宗演 と鈴木大拙の役割を中心に (仏教 /近代/アジア)	思想	943	11
Gu, Linyu	Rethinking the Whiteheadian God and Chan/Zen Buddhism in the Tradition of the Yi Jing.	Journal of Chinese Philosophy	29	
【中国】				
相 澤 正 彦	風外筆 達磨圖	國華	107	3
石 井 公 成	則天武后「大乘入楞伽經序」と法 蔵『入楞伽心玄義』—禅宗との関 係に留意して	駒沢大学禅研究所年 報	13・14	12
伊 藤 智ゆき	『六祖法寶壇經諺解』の句音調	朝鮮語研究	1	3
伊 吹 敦	『念佛鏡』に見る禅の影響	印度学仏教学研究	51(1)	12
伊 吹 敦	北宗禪系の「法句經疏」について	東洋学研究	39	
太 田 亭	禅林における中国の杜詩注釈書受 容について—初期の場合	中國學研究論集	9	10
小 川 隆	禅の書物 禅の言葉『碧巖録』雑 考(1)	禅文化	185	
小 川 隆	禅の書物 禅の言葉『碧巖録』雑 考(2)	禅文化	186	
沖 本 克 己	禅宗の受戒儀礼	印度学仏教学研究	51(1)	12
金 井 徳 幸	宋代禅利の住持差充とその周辺 僧の遊行と庶民の信仰	禅文化研究所紀要	26	12

樹 玄 静 輝	『碧巖録』講義室(49)趙州三転語、 金剛經先世罪業	大法輪	69(1)	1
樹 玄 静 輝	『碧巖録』講義室(50)西院両錯、 肅宗十身調御	大法輪	69(2)	2
樹 玄 静 輝	『碧巖録』講義室(最終回)第百 則・巴陵吹毛剣	大法輪	63	3
洪 櫻 娟	中国仏教における「禅淨双修」に ついて	黄檗文華	123	3
洪 櫻 娟	台湾における禅寺と修行僧の生活	黄檗文華	122	
佐久間 賢 祐	禅戒体論	印度学仏教学研究	51(1)	12
佐 藤 秀 孝	禅の自然観：溪声山色と諸法実相	日本佛教學會年報	68	
椎 名 宏 雄	〈禅門拈頌集〉の資料価値	印度学仏教学研究	51(1)	12
篠 田 昌 宜	〈慈悲地藏懺法〉に於ける〈楞嚴 經〉の引用について	駒沢大学大学院仏教 学研究會年報	35	4
鈴 木 哲 雄	北宋期の知識人の禅宗志向のタイ プ	印度学仏教学研究	51(1)	12
須 山 長 治	宋末における禅僧たちの交流—無 準師範の弟子たち	宗学研究	44	3
関 守 研 吾	禅における因果の研究(1)：臨済 の因果観	禪學研究	81	
徐 海基(浄嚴)	澄観の禅宗観	印度学仏教学研究	51(1)	12
高 堂 晃 壽	敦煌本『壇經』の悟達観より見た 神会派—その成立への関与をめぐ って	仏教文化研究論集	6	3
田 中 邦 夫	『明暗』における清子の形象— 『十牛図』『碧巖録』および漱石 詩との関係	大阪経大論集	52	3
田 中 智 誠	黄檗宗と、禅と浄土思想関係法系 譜図	黄檗文華	122	
田 中 良 昭	〈聖胃集〉の歴史的 성격	駒沢大学仏教学部論 集	60	3
陳 繼 東	〈禅門日誦〉の諸本について	印度学仏教学研究	51(1)	12
土 屋 太 祐	真浄克文の無事禅批判	印度学仏教学研究	51(1)	12
程 正	浄覚 その人と思想	駒沢大学禅研究所年 報	13/14	12
程 正	『頓悟真宗金剛般若修行達彼岸法 門要訣』と『大乘開心顯性頓悟真 宗論』	駒沢大学大学院仏教 学研究會年報	35	4
永 井 政 之	中国人が理解した“仏教”：禅	禅研究所紀要	30	3
西 口 芳 男	貫休〈山居詩〉試訳注	禅文化研究所紀要	26	12

長谷部 幽 蹊	勅修百丈清規の纂輯をめぐる政治的背景Ⅱ	禅研究所紀要 / 愛知学院大学禅研究所	30	3
前 川 健 一	明恵に於ける宗密の受容	印度学仏教学研究	50(2)	3
松 岡 由香子	中国禅宗スタイルの創始者・慧可	禅文化研究所紀要	26	12
宮 崎 泉	『禅定灯明論』漸門派章について	日本西藏学会会報	48	10
孟 東 燮	徳異本『六祖壇経』の研究—特に高麗初刻本の発現にちなんで	禪學研究	81	12
李 均 熙	南宗禅の修証観—神会の頓悟を中心に	印度学仏教学研究	51(1)	12
廖 肇 亨	明末清初の詩禅交渉研究序説	中國哲學研究	17	
Buschel, Noah	Zen Master Marlowe	the Buddhist review	43	
Moore, Thomas	Zen Catholic	the Buddhist review	44	
Ruggeri Anna/ 平 木 康 平	日英伊対訳〈景德伝灯録〉Ⅶ-3	人文学論集 / 大阪府立大学人文学会	20	2
伊吹 敦 著, 斎藤 智寛 訳, 朴 光哲 訳	禅宗の出現与社会反応:《浄土慈悲集》所見北宗禅活動	佛學研究	11期	
王 振 国	略析《宋高僧伝》、《景德伝灯録》 關於部分禅宗人物伝記之誤失:兼 論高僧法如在禅史上的地位	敦煌學輯刊	1期	
王 樹 海	佛禅与劉禹錫の人情詩性	社會科學戰綫	6期	
王 榮 国	文益禅師在閩參桂琛的年代、因由、 地点与卓庵处考辨	世界宗教研究	1期	
王 榮 国	唐志勣禅師生平考	宗教學研究	1期	
何 松	明代佛教諸宗帰浄思潮	宗教學研究	1期	
金 英 鎮	論寒山詩对韓禅師与文人的影响	宗教學研究	4期	
周 群	佛禅与袁宏道の文学思想	文史哲	1期	
肖 建 新	南宋紹熙内禅鈎沉	安徽師範大學學報	30	6期
石 玲	袁枚詩歌の禅影踪迹	文史哲	1期	
曾 其 海	新羅无相与劍南保唐禅	佛學研究	11期	
沈 文 凡	儒禅互融与大厲詩岡	社會科學戰綫	3期	
杜 繼 文	洪州系の農禅学和農業烏托邦	佛學研究	11期	
道 堅	保唐无住の禅学思想探究	法源	20期	
方 光 華	試論南宗禅の形成及其理論創新	西北大學學報	32	4期
方 立 天	禅宗の“不立文字”語言観	中國人民大學學報	1期	
朴 永 煥	王安石禅詩研究	佛學研究	11期	
林 悟 殊	唐百丈禅師懷海生年考	中山大學學報	42	5期

#### 44 禅学関係雑誌論文目録(2002年)

林	観	潮	黄檗東渡禅僧即非如一の爱国情懷	法音	6期
傅	紹	良	王維“閑”“空”意趣の禅学再確認	文史哲	31 3期
姚	鶴	鳴	詩悟和禅悟及其現代解読	江海學刊	5期
袁	德	領	莫高窟第196窟前室北壁上部内容考辨	敦煌學輯刊	2期
馮	国	棟	刘勰の“虚静”說与佛家の禅学	文藝理論研究	6期
淨		因	惠能之南禅(上):佛教思想發展史上的第二次回帰	法音	2期
淨		因	惠能之南禅(下):佛教思想發展史上的第二次回帰	法音	3期
吴	言	生	禅宗公案頌古の象征体系	陝西師範大學學報	31 4期
張	海	沙	从王維詩岡の転変、論佛教禅学对詩歌創作的消极影响	唐代文學研究	9輯
張	子	開	敦煌写本《六祖壇經》の題名	宗教學研究	2期
張	尚	德	云門禅与当代社会道德的重建	佛學研究	11期
楊	曾	文	北宋駙馬都尉李遵勳和禅宗	法源	20期
蕭	鴻	鳴	生在曹洞臨濟有:有関八大山人与禅門関系の几个問題	美術研究	2期
賀	云	翱	唐法灯禅師墓志銘考	文博	6期
郜	林	涛	大厲詩歌意象の禅意特征	晉陽學刊	6期
积	純	一	試論馬祖道一禅師对中国佛教の建樹	佛學研究	11期
陳	星	橋	广参苦行存典范 古柏千年播禅岡:趙州和尚生平事迹与趙州禅の厲史影响	法音	8期
陳		堅	“乾屎橛”、“柏樹子:” 禅宗“公案”与“参公案”探蹟	宗教學研究	1期
龍延, 陳	開	勇	黄庭堅禅林交游考略	文獻	3期
龔		雋	中国禅宗厲史上的“方便通經”: 從六世紀到九世紀	中國學術	3(2)
吉	川	忠夫	唐代的士大夫与禅	人文論叢	

#### 〔日本〕

青	山	俊	董	道元禅師に学ぶ(1)	大法輪	69(9)	9
青	山	俊	董	道元禅師に学ぶ(2)	大法輪	69(10)	10
青	山	俊	董	道元禅師に学ぶ(3)	大法輪	69(11)	11
青	山	俊	董	道元禅師に学ぶ(4)	大法輪	69(12)	12

青 山 俊 董	仏の生命を生死する一道元禅師に学ぶ	大法輪	69(2)	2
朝 倉 和	五山文学における禅月の受容—絶海中津『蕉堅藁』を起点として	禅文化研究所紀要	26	12
東 郁 雄	道元禅師『普観坐禅儀』の一考察	宗学研究	44	3
東 隆 眞	戒律文化の広場 叡尊上人と道元禅師	戒律文化	1	3
東 隆 眞	清水寺に瑩山禅師顕彰碑	大法輪	69(3)	3
阿 部 珪 仁	禅宗の仏具 (特集 目で見てわかる日本仏教各宗派—建物・仏具・本尊などでわかる宗派の違い)	大法輪	69(4)	4
荒 槇 純 隆	静明法印と禅宗	天台学報	44	11
安 藤 嘉 則	中世禅宗における幻住派の密参禅について	印度学仏教学研究	50(2)	3
安 藤 嘉 則	中世臨済宗幻住派の公案	日本文化研究	4	3
石 井 公 成	『秀禅師七礼』試論—「如是順物」と晋敬の関係	駒沢短期大学研究紀要	30	3
石 井 修 道	日本達磨宗の性格	財団法人松ヶ岡文庫研究年報	16	
石 井 修 道	大慧禅と〈大慧武庫〉	宗教研究	75(4)	12
石 井 修 道	〈帰依仏法僧宝〉考	駒沢大学仏教学部論集	33	10
石 井 清 純	〈正法眼蔵〉における〈大悟〉の定義について 真福寺本と乾坤院本〈大悟〉巻の比較	印度学仏教学研究	51(1)	12
石 島 尚 雄	道元禅師と真浄克文に関する一考察—特に肇論の引用をめぐる	曹洞宗研究員研究紀要	32	3
伊 藤 秀 憲	道元禅師と自然—仏性顕在論について (佛教と自然)	日本仏教学会年報	68	
伊 藤 真 宏	法然和語文献の研究 西本願寺蔵長祿四年写本『往生要義抄并十二問答 禅勝房教化 因縁集』について	仏教大学総合研究所紀要別冊		3
今 泉 淑 夫	雪嶺永瑾について	禅文化研究所紀要	26	12
上 田 純 一	堺・向上庵一路について	禅文化研究所紀要	26	12
上 原 元 隆	「出家」のあるべき姿・あるべき仏教学者—釈尊・道元禅師の原点に帰れ	宗学研究	44	3
内 山 純 子	近世中期の仏教界革新・佛教学興隆に貢献した黄檗僧了翁禅師—東叡山勧学院の創設と台密禅二十一ヶ寺への一切経施経を中心に	黄檗文華	123	

## 46 禅学関係雑誌論文目録(2002年)

大槻幹郎	高泉禅師語録の解題—詩文篇	黄檗文華	123
岡部恒	守護大名 山名氏と禅宗 とくに栖真院開創について	禅文化研究所紀要	26 12
小川後楽	五山文学に見る煎茶	茶の文化	2
表章	「世阿弥と禅林用語」小考—「ジョーシキ」の語を中心に	禅文化研究所紀要	26 12
角田泰隆	研究動向 道元禅師の時間論研究	駒沢短期大学仏教論集	8 10
角田泰隆	道元禅師の時間論研究	駒沢大学禅研究所年報	8 10
葛西好雄	道元禅を伝えて来た人々(特集 道元を知るために—仏道をなろうというは自己をなろうなり)—(第一編 その生涯と思想・宗教)	大法輪	69(2) 2
金山秋男	時時行尽即現成公案 道元禅における不染汚の修証	明治大学教養論集	357 3
金子宗元	道元禅師の仏伝観について—三大阿僧祇劫の供養諸仏	宗学研究	44 3
久馬慧忠	「良寛禅師戒語」に聞く(特集 良寛さま—無欲・童心に生きた禅僧のすべて)	大法輪	69(11) 11
清田寂雲	宗学の振興と普及について	叡山学院研究紀要	24 3
桐野好覚	道元禅師における『法苑珠林』依用をめぐる一考察	宗学研究	44 3
桐野好覚	道元禅師と羅漢供養—道元禅師撰『羅漢供養式文』再考	宗学研究紀要	15 3
金勲	無相禅師の禅思想について	大阪経済法科大学総合科学研究所年報	21 2
熊谷忠興	道元禅師ゆかりの地(特集 道元を知るために—仏道をなろうというは自己をなろうなり)—(第一編 その生涯と思想・宗教)	大法輪	69(2) 2
熊倉功夫	千少庵伝断章	禅文化研究所紀要	26 12
熊本英人	道元と時頼をめぐる二題の歌舞伎	駒沢大学仏教学部論集	33 10
倉沢行洋	茶禅一味	禅文化研究所紀要	26 12
小池孝範	禅問答の人間形成論的意義—道元禅師の「問答」の展開を軸にして	日本仏教教育学研究	10 3
近藤良一	何燕生著〈道元と中国禅思想〉	印度哲学仏教学	10
齋藤知正	只管百姓と只管打坐—江渡狄嶺と道元禅師	比較思想研究	29

斎藤夏来	禅宗十方住持制の再検討	禅文化研究所紀要	26	12
佐々木容道	夢想詩雑感 義堂	禅文化研究所紀要	26	12
佐藤利行	頼山陽と愛石趣味	広島大学大学院文学研究科論集	62	12
下條正	登山清規における星宿信仰について—消災咒を中心として	宗学研究	44	3
下室覚道	道元禅師と提婆達多(下)	宗学研究紀要	15	3
菅原論貴	〈永平広録〉上堂語所収〈偈頌〉の本文対照(下)	禅研究所紀要	30	3
鈴木哲雄	北宋期の知識人の禅宗志向のタイプ	印度学仏教学研究	51(1)	12
須田悦生	沢庵禅師と「沢庵漬」考	言語文化研究	1	3
青龍宗二	道元禅師の宗教とその思想	駒沢大学仏教学部論集	33	10
青龍宗二	道元禅師の発願利生について(第六十回「日本宗教学会」学術大会紀要特集)一(第五部会)	宗教研究	75(4)	3
青龍宗二	道元禅師の本証妙修について	駒沢大学仏教学部研究紀要	60	3
仙石景章	道元禅師の発心について	印度哲学仏教学	17	10
竹内弘道	登山禅師伝と依拠する史料の間	宗学研究	44	3
竹貫元勝	天文期の大徳寺	禅文化研究所紀要	26	12
竹林史博	昭和正信論争の新資料(1)忽滑谷快天編『道元禅師聖訓』について	宗学研究	44	3
竹村牧男	研究会 晩年の道元の坐禅観	禅研究所紀要	31	
立松和平	講演会 道元禅師の自然観	日本文化研究	4	3
棚澤幸夫	カラー・一色口絵 越前に道元禅師の足跡を訪ねて	大法輪	69(2)	3
田村晃祐	果分の信 日本仏教思想の特質	日本仏教学会年報	5	
千葉正	中世真言密教の禅宗観—道元禅における密教研究の必要性(特集 宗学と現代を考える)	宗学研究	44	3
陳継東	〈禅門日誦〉の諸本について	印度学仏教学研究	51(1)	12
土屋有里子	無住著作における法燈国師話—鎌倉寿福寺と高野山金剛三昧院	国語と国文学	79(3)	3
筒井紘一	大法輪カルチャー講座 仏教と茶の湯文化(3)陸羽と智積禅師	大法輪	69(11)	11
永島福太郎	沢庵和尚大和名所めぐりの文(増補)	禅文化研究所紀要	26	12

## 48 禅学関係雑誌論文目録(2002年)

中 祖 一 誠	道元における〈道得〉の意義	禅研究所紀要	30	3
奈 倉 道 隆	法然上人の御法語から 私の「医と念仏」考(特集2 医と念仏、そして禅)	禅と念仏	11	6
奈 良 康 明	帝釈の網 仏教における共生の原理	東方	17	3
西 尾 勝 彦	〈正法眼蔵聞書抄〉における〈正法眼蔵〉の解釈について 〈全機聞書抄〉から	印度学仏教学研究	51(1)	12
西 尾 勝 彦	〈正法眼蔵〉における經典観について 〈看経〉巻から	駒沢大学大学院仏教学研究會年報	35	4
西 尾 賢 隆	板渡の墨蹟	禅文化研究所紀要	26	12
野 川 博 之	為霖道霈禪師「道元伝」の特色	黄檗文華	123	
能 勢 隆 之	道元禪師、その他の著作(特集 道元を知るために一仏道をなろうというは自己をなろうなり) — (第一編 その生涯と思想・宗教)	大法輪	69(2)	2
能 仁 晃 道	近世禅宗史寸考一伽藍法と印証系という二つの法系	禅文化	183	
能 仁 晃 道	近世禅宗史寸考一五山の結制復活に果たした象海惠湛禪師の功績	禅文化	184	
能 仁 晃 道	近世禅宗史寸考 清見寺の陽春と法常寺の大道一そして白隠禪師	禅文化	185	
能 仁 晃 道	近世禅宗史寸考 古月禪師の手紙	禅文化	186	
橋 本 雄	肥後菊池氏の対外交流と禅宗・港町	禅文化研究所紀要	26	12
濱 田 隆	濃尾地方における禅宗の興隆と妙心寺派頂相—中世の文芸と絵画の一断面(3)(特集 美濃・飛騨地方の仏教美術)	仏教芸術	263	7
晴 山 俊 英	清規にみる道元禪師の独自性—その一端を探る試みとして	宗学研究	44	3
前 川 健 一	明恵に於ける宗密の受容	印度学仏教学研究	50(2)	3
松 永 知 海	天真了翁禪師研究の課題	黄檗文華	123	
南 澤 道 人	道元禪師七五〇回大遠忌もなかばを過ぎて(特集2 円成近し、道元禪師七五〇回大遠忌)	禅と念仏	12	10
三宅良幹/小川浩隆/小早大/上光洋/池林宇	金沢文庫本〈正法眼蔵〉の訳注研究(二)	駒沢大学禅研究所年報	13/14	12
宮 地 清 彦	江戸期における登山禅思想の位置付けについて 仏性観を探る	宗教研究	75(4)	3



宮 地 清 彦	瑩山禅師の善惡観—『宏智録』との関連性より考える	宗学研究	44	3
村 越 英 裕	臨濟宗(特集 目で見てわかる日本仏教各宗派—建物・仏具・本尊などでわかる宗派の違い)	大法輪	69(4)	4
山 家 浩 樹	如大縁由の寺院と室町幕府	禅文化研究所紀要	26	12
山 内 舜 雄	曹洞宗の二十世紀 道元禅の近代化過程とその展望	近代仏教	9	3
山 田 哲 也	〈南方録〉と青木凡鳥	禅文化研究所紀要	26	12
兪 慰 慈	注釈 日中文化交流史的基礎研究《扶桑五山文学原典箋註係列》第一種—絶海中津《蕉堅藁》箋註(6)	福岡国際大学紀要	7	2
芳 澤 勝 弘	瓢箪図・再考	禅文化研究所紀要	26	12
芳 澤 勝 弘	白隠禅師仮名法語・余談(21)大道芸人の古耕・と白隠法語	禅文化	183	
芳 澤 勝 弘	「猿廻図」と「猿曳の翁図」—白隠禅師仮名法語・余談(22)	禅文化	184	
渡 部 正 英	禅宗寺院の一年、庶民と民俗仏教について 乗国寺の場合	宗教研究	75(4)	3

〔朝鮮〕

鄭 鳳 輝	仏教とその傳來(1) 韓国仏教と日本・熊本	海外事情研究	29(2)	2
三 友 健 容	日本・韓国佛教学交流の父金東華博士の一考察	印度学仏教学研究	51(1)	12
申 昌 浩	再生宗教としての朝鮮仏教と親日	日本研究	25	4
李 法 山	韓国仏教の特徴〔含 ハングル原文〕	岐阜聖徳学園大学仏教文化研究所紀要	1	
김 영 표	선불교와 현대의 심층심리학	禅文化	18	1
김 영 표	선불교에서 본 심층심리학의 자아실현론	원효학회/원효학연구원	7	4
정 성 본	선불교의 정토사상	한국불교선학연구원	12	4

〔西藏〕

才 讓	从《五部遺教》看禅宗在吐蕃的传播和影响	西藏研究	2期	
邱 環	浅論藏傳佛教的禅思想	西藏研究	2期	

50 禅学関係雑誌論文目録(2002年)

〔書評〕

安藤嘉則	書評と紹介 石川力山著『禅宗相伝資料の研究』上・下	日本歴史	648	5
伊藤幸司	書評と紹介 上田純一著『九州中世禅宗史の研究』	日本歴史	648	5
伊吹敦	書籍紹介『禅の歴史』	東方	18	
村井章介	書評 上田純一著『九州中世禅宗史の研究』	日本史研究	479	7
明堯	鴻文三卷印禅心：讀吳言生博士の“禅学三書”	法音		2期
徐文明	一枝三葩 三車一乘：評吳言生博士の《禅学三書》	世界宗教研究		1期
沈文凡	禅宗・哲学・詩歌融通体系的の構築と建設：吳言生博士《禅学三書》述評	佛學研究		11期
方立天	禅宗思想、哲学、詩歌研究の可喜成果：評介吳言生博士の《禅学三書》	陝西師範大學學報	31	3期

〔講演〕

青龍宗二	退任記念講演 道元禅師の宗教とその思想(青龍宗二教授退任記念)	駒沢大学仏教学部論集	33	10
------	---------------------------------	------------	----	----

〔その他〕

東隆眞	いまこそ世界禅センターの設置を(特集2 円成近し、道元禅師七五〇回大遠忌)	禅と念仏	12	10
出光泰生	研究余録『金光禅師行状』について 12. 道元禅師に学ぶ(2)	禅と念仏	12	10
岩永正晴	斧山玄掘の著作について(3)『義雲和尚語録問書』と『義雲和尚語録問解』の対照(2)	駒沢大学仏教学部研究紀要	60	3
大西廣	雪舟史料を読む(5) 日本禅人等楊一四季山水図(1)	月刊百科	472	2
小川隆	禅の語録を訳すということ一末木文美士編『碧巖録』研究会訳『現代語訳 碧巖録』上(Book Review)	東方	252	2
小川隆	禅の語録を訳すということ(3) 末木先生の反論に答えて	東方	256	6
沖本克己	現代の宗学的課題	駒沢大学仏教学部論集	33	10

奥村正博	アメリカ仏教との対話	駒沢大学禅研究所年報	13/14	12
尾崎正善	清規関係文献項目索引	鶴見大学仏教文化研究所紀要	7	4
小田嶋 巖	コミュニケーションとしての禅と異文化—現代アメリカ禅仏教の特質	曹洞宗研究員研究紀要	32	3
黒田武志	DOGEN 2002 道元禅師七五〇回大遠忌記念ゼミナールにて(特集2 円成近し、道元禅師七五〇回大遠忌)	禅と念仏	12	10
小池孝範	禅的言語と自己形成	日本仏教教育学研究	10	3
古東哲明	虚空の秘密(特集2 円成近し、道元禅師七五〇回大遠忌)	禅と念仏	12	10
末木文美士	禅の語録を訳すということ—小川隆氏の書評に答える	東方	254	4
末木文美士	禅の語録を解釈するという—小川隆氏の再反論に答えて	東方	258	8
鈴木景雲	相國寺承天閣美術館・禅と茶の湯展によせて 相國寺と茶の湯	茶道雑誌	66(7)	7
谷川守正	「十牛の庭」の女性教育	教育学部論集	13	3
中村昭之	臨床心理学の基礎としての禅仏教—癒しと禅修行について	駒澤大学心理臨床研究	1	
西垣慶康	私の誓願—夢街道・慕古の旅(特集2 円成近し、道元禅師七五〇回大遠忌)	禅と念仏	12	10
野尻(藤田)かおる	『元亨釈書』と葉貫先生の思い出—虎関師錬が採った拓本	駒沢史学	58	3
松浦恆雄	中国現代詩の系譜—詩人たちの肖像(13) 龐名—頓悟の詩人	月刊しにか	13(4)	4
ブライアン・大禅 ヴィクトリア	〈禅と戦争〉から考える	駒沢大学仏教学部論集	33	10
Hoang Trong So (au.)	Hut-Entering: A Study of the Peculiar Mode of Practice in Vietnamese Ch'an System of Monasteries and Nunneries	パーリ學佛教文化學	16	
Suzanne Mrozik	The Value of Human Differences: South Asian Buddhist Contributions Toward an Embodied Virtue Theory	Journal of Buddhist Ethics	9	

〔後記〕 本論文目録は本学大学院仏教学専攻の以下の者によって作成された。

西岡秀爾 任京美 片山鈴奈 王招国 小川太龍 島津明 永井俊裕。

以下の論文リストは、本学会員村本詔司先生（現神戸市立外国語大学）よりお寄せ頂いたもので、これまでの目録に採録されていないものです。改めて掲載すると共に、村本先生には深くお詫び申し上げます。

現在、本学大学院生が中心となって作成しておりますが、その努力にも限界があり、遺漏も少なくないと思われます。今後とも関係各位の御教示をお願い申し上げます。

〔単著〕

『研究報告第6冊 西洋と仏教の出会い』花園大学国際禅学研究, 1998.

〔編書〕

*Awaking and Insight: Buddhism and Psychotherapy East and West*, edited together with Polly Young-Eisendrath, London: Routledge, 2002.

*Dialogues in Psychonalysis and Buyddhism*, North Point Press, New York: A Division of Farrar, Straus and Giroux, 1998. 12.

Jung e il buddhismo, in *Psicoanalisi e buddhismo*, a cure di Anthony Molion, Milano: Raffaello Cortina Editore, 155-170, 2001.12.

Cortinuing a conversation from Wast to West: Buddhism and psychotherapy, in *Awaking and Insight: Zen Buddhism and Psychtherapy*, Brunner-Routledge, 2002, pp. 1-12.

Buddhism, religion and psychtherapy in the world today, in *Awaking and Insight: Zen Buddhism and Psychtherapy*, Brunner-Routledge, 2002, pp. 15-29.

The Jung -Hisamatsu conversation in *Awaking and Insight: Zen Buddhism and Psychtherapy*, Brunner-Routledge, 2002, pp. 109-121.

Jung andBuddhism in *Awaking and Insight : Zen Buddhism and Psychtherapy*, Brunner-Routledge, 2002, pp. 122-134.

〔本の章〕

「スピリチュアリティと現代 キリスト教と仏教と無宗教の接点」『大乘禅』, No. 894, 52-65 頁, 1995.5.1.

「深層心理学と仏教」, 『季刊仏教』 法蔵館, No. 48, 28-30, 1999.10.

「仏教東漸」, 『季刊仏教』 法蔵館, No. 48, 28-30, 1999.10.

〔書評〕

A New Stage in the Relationship between Jungian Psychology and Buddhism: A Review of *The Gift of Sufferings* by Polly Young-Eisendrath (Addison-Wesly, 1996), *FAS Journal*, 129-132, 1997.1.